



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週 報

2022～2023年度 RI会長 ジェニファー・ジョーンズ
RIテーマ イマジン ローター

クラブテーマ「楽しい例会 楽しいロータリー」

会長 小林 勝 幹事 杉山順一

第1522回 例会 2023.2. 17(金)晴

司会：原兄多君

ロータリーソング「日も風も星も」 指揮：鈴木俊也君

事務所 三島市泉町9-8 1F南

TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 小林 勝君



私の知り合いに運送会社の社長がいます。先日、この社長と話す機会があり、その時に聞いた流通業の現状が興味深かったのでその話をします。

流通業の90%以上は大型のトラック運送だそうです。日本の高速道路は料金が高いので国が深夜0時から4時まで1秒でも高速道路を走ると高速代金を30%引きにすると制度にしたそうです。仮に東京から広島まで往復すると16,600円安くなるそうで、トラックドライバーはどうしても深夜の運転が多くなりました。サービスエリアの駐車場は、この制度を使うため、時間調整のトラックがサービスエリアにいっぱいになるそうです。この時間調整をするため労働時間も長くなり、ドライバーの労働環境の悪化にもなったそうです。まったく本末転倒の政策ですよ。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

三輪暁生さん

(吉村君のゲスト)

おめでとう

会員誕生日

2月19日 中村 徹君
2月23日 石井司人君
2月27日 小林 勝君

入会記念日

1月8日 篠木喜世君
2月14日 服部光弥君
2月20日 原 兄多君
2月21日 米山晴敏君

出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	26/35	74.30%	28/35	80.00%
今回	31/35	88.60%	会員総数	36名

欠 席 者

あなたが見えなくて残念でした。

伊丹君、大村君、加藤君、吉村君

(*出席免除会員の欠席者 山本君)



4大奉仕委員会報告

職業奉仕委員会

原 兄多君

職業奉仕委員会委員長の伊丹雅治です。本日は公務のため、活動報告への出席が叶いませんこととお詫び申し上げます。

では、これまでの取り組みと今後の方向性について皆様にお伝えをさせていただきます。

「倫理的な商売をする」「商売の極意を学ぶ」一般社会に大きく貢献できる職業奉仕を実践するためにも、奉仕活動を通じて感謝と尊敬、信頼、信用を地域の人々から得ることが重要になると考えます。

そこで、前年度も取り組みました「福祉」と組んで、何かできることはないか考えました。

平成24年に文部科学省が実施した調査では、通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒は6.5%

(注)この数値は、学級担任を含む複数の教員により判断された回答に基づくものであり、医師の診断によるものではないことに留意が必要

つまり、発達障害の可能性のある児童生徒は、通常の学級を含め、全ての学校・学級に在籍していると考えられます。障害者基本法は「障害があってもなくても分け隔てられず、一人一人を大切に共生社会をつくる」ことを目的とし、法律の中で、障害のある人を、「身体・知的・精神障害のある人などで、障害や社会的障壁(社会のかべ)によって、暮らしにくく、生きにくい状態が続いている人」としています。

お互いを尊重し合いながら共生する社会を実現するためには、私たち一人一人が障害への理解を深めることが大切だと考えます。

三島市の松本に「エシカファーム」という静岡県東部で障がいのある方のサポート・ケアをしている団体があります。幼児から成人まで、年齢に合わせたトータルサポートをしています。特徴的な取り組みとして障がいのある人の個性を活かしたモノ、コトを生み出すプロジェクト「ハチエイチ」があります。プロジェクト名には8時間働く時間がハッピーな時間であるようにとの意味が込められているそうです。

障がいのある方の表現を「カタチ」にして伝えるプロジェクトで、「その人らしさ」が感じられるものづくりを大切にされています。アート作品のグッズ化や、展覧会の実施などを行っています。

彼らの「ものづくり」を通し、人・作業所・アーティスト・企業・学校などとの様々なつながりを生み出せるのではと考えます。

今後、ロータリー会員の皆様に、このような団体が三島にあることを知っていただき、できれば、どんなアート作品やグッズがあるのかお手にとっていただくような機会を作りたいと考えています。

結びに、本事業への皆様のご協力をお願い申し上げ、職業奉仕委員会の活動報告に代えさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

社会奉仕委員会

土屋 巧君

まず社会奉仕委員会として令和4年7月以降、実質的に活動できていないことを会員の皆様に陳謝致します。今後はユニセフ(国連児童基金)を通じて募金活動を展開する予定であります。ウクライナ紛争の渦中にある子供たちのために本年6月まで活動し、送金したいと考えております。募金箱は昨年末にユニセフから取り寄せてあります。せせらぎ三島ロータリー(代表:小林勝会長)で申し込み2箱取り寄せました。例会のたびに受付に設置致しますので皆様のご協力をお願いいたします。もう1箱は自分の職場(さくら税理士法人)に設置させて頂きました。こちらも最終的には合算して送金します。1,000円札でなくても構いません。1円でも5円でもお気持ちで結構です。よろしくお願いいたします。

国際奉仕委員会

小島 真君

1月25日から1月29日までカンボジアに行って来ました。カンボジアでは26日、27日の2泊と慌ただしいスケジュールでしたが、非常に内容の濃い事業でした。

25日は成田での前泊で、皆で焼き鳥を食べながらカンボジアへの思いを語りました。

26日カンボジアへ渡航。途中ベトナムにてトランジット。

夕食は伝統のクメール料理を食しました。

27日は井戸を建設した小学校2校での贈呈式を行いました。

子供たちはもとより、村長、教師、保護者皆が非常に喜んでる姿を目の当たりにしとても感動的でした。これまでは泥水を飲み、靴も履けない児童たちがいる中で、蛇口をひねれば清潔な水が出てくる感動を心より感じる事が出来ました。何よりもあの子供たちの心からの屈託のない笑顔が印象的でした。

ランチは現地の食堂でした。厨房とトイレの間に大きなかめがあり、雨水をため生活用水に活用していました。個人的にはとても口にするのは難しい環境だと感じました。

夕食は高価なフランス料理をいただきました。

28日は米山パスト会長年度の小学校贈呈式組、アンコールワット観光組、その他観光組に分かれ行動し夕方便にてベトナム経由にて29日早朝に日本に帰国しました。

細かい事は色々ありましたが、全員無事に帰って来ることが出来嬉しく思います。

この感動は話や写真では一部しか伝わらないと思います。機会があれば是非現地にて感じて頂きたいと思います。

宜しくお願い致します。



各委員会では、この半年間にご報告の通り様々な活動を行ってきましたし、この先の活動に向けて準備している委員会もございます。

また、コロナ禍で自粛気味でありましたテーブル会も一部開催しております。

ロータリーの原点であるところの「仲間が集まって語り合う」ことが間もなく普通のこととして戻ってくると思います。

小林年度後半につきましても皆様のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ROTARY NEWS

2月6日にトルコとシリアを襲った壊滅的な地震では、数万人の死者が出ており、何千もの家屋や建造物が倒壊し、冬の寒さの中で大勢の人が住む場所を失っています。

このような悲惨な状況を受け、世界中のロータリー会員が直ちに支援に乗り出しています。ジェニファー・ジョーンズRI会長は、被災地と連絡を取りあって対応を開始し、被災地のガバナーが災害救援補助金を申請するよう、またロータリーによる支援を広げるために現地での救援活動について情報を提供するよう呼びかけました。

ロータリー財団管理委員会は、現時点から3月31日までにトルコ・シリア災害救援基金に寄せられたすべての寄付を、災害救援補助金を通じて今回の地震の被災者救援プロジェクトの支援に使用することを決定しました。

ロータリーのプロジェクトのパートナーであるシェルターボックスのチームもトルコに赴き、被災者にテントや援助物資を提供するためにロータリー地区リーダーと緊密に協力して対応にあたっています。トルコ・シリア地震の救援における協力の最新情報は、シェルターボックスのウェブサイトをご覧ください。



杉山寿美子君：今日は亡き夫杉山隆の命日です。無事に七回忌を家族、会社共々過ごしている事に感謝です。皆様にも・・・心より有難うございます。

山口雅弘君：お久しぶりです。長らくお休みさせていただきました。これからがんばります。

山口辰哉君：明日のNHK19:30～「プラタモリ」小さい頃からかわいがっていた友人の娘が出ます。アイランドの話だそうです。ぜひ見てやって下さい。

土屋和彦君：Cテーブル会開催します。初めてのテーブル会、楽しみです。

Dテーブル：15日に本当に久しぶりの「テーブル会」を開きました。相変わらず「やごみ酒店」は安くてうまい。残金をスマイルします。

中村 徹君：2月10日、小林会長、杉山幹事にご臨席を賜り、テーブル会を計9名で開催しました。会の8割方は国際奉仕委員長の小島さん、会長、幹事さんのカンボジア支援事業に行かれた奉仕活動のお話でしたが、特に現地の環境の実情が大変厳しいものがあるとお聞きしました。メンバーで入ったお店の料理を注文しても、使っている水はきつと雨水だったり、トイレで使う水と共用だったと思わせる話を聞かせていただき、衛生管理などのインフラ整備にカンボジアは相当な年月がかかると思いました。その点、我がクラブの掘った井戸が地中深く掘られ、汚染されることなく、地域の子供たちに充分有効に利用されている事を知り、この子供達が成人するときには今までと全く違うカンボジアであることを願いました。テーブル会も2020年度山田年度以来3年ぶりで、若い会員にテーブル会の意味や進行が分からないと言われてしまいました。下記にテーブル会の趣旨が会員の皆さんに伝わるよう説明文を記しましたのでご勘弁ください。――

一般には、かつては炉辺会合(Fire-Side meeting)と言われ、名称に「座談会」「家庭集会」「情報集会」などと変遷があり、現行では、この言葉そのものが「手続要覧」には見られなくなっています。当クラブは三島クラブ、三島西クラブの流れから年3回テーブル会として「炉辺会合」を行って来た経緯があります。テーブル会は各テーブルの幹事が会長、幹事の日程を伺い、会場、会費を設定する事から始まり、当日はテーブルマスターが前もって「その日のテーマ」を決め、会長をねぎらう挨拶と乾杯をしたのち、会長・幹事にご挨拶を頂き、若い会員にはロータリーについて思っていることを心置きなく語ってもらい、締めはパスト会長にお願いしています。

Aテーブル：2月10日、会長・幹事出席のもとテーブル全員参加でテーブル会を行いました。残金スマイルします。中山和雄君：こんばんは。今日、早退させていただきます。四大奉仕活動報告は次週の週報にて聞かせて頂きます。

藤川智徳君：本日早退です。宜しくお願いします。

石井司人君：先日オープンした息子の店に大切な方がお見えになるので申し訳ありません、早退します。